



むつごろ



北山湖（北山ダム）湖畔に広がる21世紀県民の森

25

1992. 7



赤熊太鼓のみなさん



プリンセス佐賀のお二人

賀の中、前田里恵子さん、伊藤寿さんのお二人が、冠頭衣姿にスカイブルーの管玉、卑弥呼の装いも鮮やかに颯爽と登場。金子会長に花束を贈呈。会長の目尻も下り気味。しばらく会場に花を添えていたいただきましたが、県人会のオジサン・オジサマには終始モテモテでした。

つづいて、同じ三田川町に今に伝わる赤熊太鼓。遠い戦国の世、圧倒的な大軍を擁して攻め込んで来た大内勢に対して起死回生の一撃を。赤熊の面をつけた二百の武士は、夜陰にまぎれて二千の敵中へ斬り込みをかける。大混戦を来した敵は敗走しあつぱれ肥前の大勝利。その武勇を賛える合戦太鼓です。

それに加えて、近年吉野ヶ里太鼓を創作されて、なお意気盛んな赤熊太鼓保存会の皆様です。



弥生の美女の接待にニコニコのみなさん

馴れてきました。聞き手の方もなかなかのもの。一曲終れば話を止めてちゃんと拍手をして下さいます。カラオケ文化もすっかり定着しました。しかし、すっかり感激しましたのは、白石町出身のどなたさんでした。始めて県人会に出席しました。知り合いが来ているはずですがお互い顔が分りません。今から舞台で歌うので、僕の知り合いは名をり出して下さい。歌のあと二、三名の方と劇的な再会が出来たと、司会者にご報告がありました。司会者みょうりにつきた親睦会でした。

最後に今年もお土産のご協力をいただいたお土産。大原老舗様、太田製菓様、まるまん倉庫様、村岡総本舗様、それにガニ漬け・ウミタケ漬けを贈っていただいた方、心よりお礼申し上げます。

やっぱり佐賀は「吉野ヶ里」

弥生の冠頭衣美女から 戦国の赤熊太鼓まで

カラオケで ン？十年ぶりの再会

こちらに、あちらに、話のウズ。さて、舞台で歌っても聞いてくれる人がいるのかしら。やや心配しながらのカラオケスタートでした。おすおすとお出する人もいれば、二度も三度も歌いたがるゴーケツも。歌い手の方もすっかり

福岡と佐賀

福岡市佐賀県人会定期総会

相互繁栄は我々の手で

平成4年6月5日 KKRはかた



金子会長のあいさつ

一年ぶりの顔がそろいました。平成四年六月五日、場所は新装なったKKRはかた（旧はかた会館）大ホール、二百三十余名の佐賀県人が集い、簡井副会長の開会宣言をもって幕を開けました。

金子会長からは、まず、永倉名誉会長の近況のご報告がありました。一時よりはご健

康を回復され、現在のご自宅でお休みの毎日をおくっていただける様子、県人会の皆様にはくれぐれもよろしくとの言葉で、会場はなごやかな空気につつまれました。

会長はまた、佐賀空港建設、新幹線長崎ルート、西九州道路、さらに吉野ヶ里国営公園等佐賀の躍進を実現しつつも、

行政・産業と全ての九州の拠点である福岡とのより一層の地域の融合を図って、あらゆる点で相互繁栄の基礎作りに取り組んで参りたいとの決意を述べられました。

ひきつづき会長自ら、佐賀にご転勤になられた大串梓様の副会長辞任と、新たに指山弘養様・森泉様お二方の副会長就任につき全出席会員に諮られました。めでたく全会

一致で承認されました。

佐賀県からは宮原総務部長、福岡市からは本市長室長、それに富士町の岩井町長さんもお見えになり、それぞれに御祝辞をいただきました。

高田副会長からの決算報告並びに予算案説明もどこのりなくすみ、指山副会長の閉会の辞をもって総会は無事終了いたしました。



辻副会長の音頭で乾杯

今回は、かねてお世話になっている佐賀県人会相談役中牟田栄蔵氏を訪ね、ふる里佐賀県とのかかわりあいなり、中牟田相談役の横顔なりをご本人にお聞きしましたのでご紹介いたします。

九州福岡を拠点に、デパート経営を中心に福岡・熊本・長崎・佐賀各県の地域に広く販売網を展開する岩田屋グループのルーツをたどると、

・今をさかのぼる事二四〇年、宝暦四年筑前福岡大工町に岩田屋呉服店誕生、明治一〇年西南の役の頃博多麴屋町に博多店出店、呉服の老舗岩田屋として初代中牟田喜兵衛氏により福博随一の呉服屋になる。

・明治の終り頃、跡継ぎとして佐賀市水ヶ江町在住の山下喜十郎氏を婿養子に迎え、二代目中牟田喜兵衛を襲名し店主となられ、この人が大正年

佐賀県人会相談役 中牟田 栄蔵氏

活躍する 佐賀県人たち

間数少ない在福の佐賀県人と呼ばれて三夜待懇親会を開き、佐賀弁でお互いに励まし合い同郷の者同志の楽しみ憩いの会合になっていた。これが、佐賀県人会の創世期だそう。

・その後、昭和十一年天神町に八階建ての岩田屋百貨店を開店し現在にいたっています。



今日の福博デパート業界の雄天神岩田屋は、福岡名所として押しも押されぬ存在になり、これは中洲にある老舗玉屋デパート共々佐賀県に縁のある人々で福博を二分している格好になっております。このことは、明治以来傑出した幾多の先輩佐賀県人の中で、地味でしかも積年の努力により成功された商魂の逞しさを

如実にものがたっています。さて、話を戻しますと中牟田栄蔵氏は二代目喜兵衛氏の三男として大正九年に生れ、西南高商から同志社大学を卒業、岩田屋に入社し長兄の中牟田喜一郎会長を補佐し、後継者中牟田健一氏にバトンタッチするまでの二期四年間、平成元年まで岩田屋社長として采配をふられました。この後相談役で専ら社会奉仕に汗を流し、そのご多忙ぶりには驚き且つ敬服いたしております。その基本理念は「世界の日本の、それにふさわしい立派な日本人の育成」であり、このセオリーに準じて福岡市青少年団体連絡会議・日本ボイスカウト福岡県連盟長（登録員七千五百名）をはじめ二〇団体のリーダーとして立派な社会人育成を目指しておられます。

特に昨年は自宅敷地のほとんどもをボイスカウト会館として提供建設されるなど、幼児の頃から国際人としての基本をこく自然な形で教えていくというところに情熱を傾けておられます。

最近では、物質的な豊かさに恵まれているものの、精神的にはともすれば荒廃の兆しの中にあつて、その浄化に専念されておられるようでございます。

ロータリークラブ活動はもとより、交通安全・防災関係の会長と奉仕の精神に徹せられ、特に市街清掃には自らがボイスカウトの皆さんと一緒に、大濠公園清掃の先頭にたち率先垂範されておられまして、去る平成元年には藍綬褒章、社会教育功労表彰をお受けになつています。今からもおなほあらゆるボランティア活動とりわけ社会教育に頑張られる抱負を頼もしくお聞きいたしました。

最後に、中牟田大先輩の趣味を尋ねますと「毎日の掃除が趣味です」と淡淡として申されました。

素人記者の私は、こんなに清純で素晴らしいお方と約一時間、お話し合ってきた事を心から感謝し、中牟田栄蔵氏のますますのご健康を祈願しながら写真撮影をさせてくださいたいとお願いいたしました。

こうして「むつごろ誌」取材を終え、岩田屋本部役員室を辞去いたしました。

ときに平成四年六月十七日正午でございました。

高田 省 三

感性の4ドアハードトップ
SPRINTER
MARINO 誕生
あたたかいスペシャリティーカーです。

トヨタオート福岡株式会社
TOYOTA
本社 福岡市博多区竹下2丁目2番31号 ☎ 092-411-511 (代表)
●取扱車種/アリスト・チェイサー・スプリンター・スターレット・MR2・セラ・カリア・ライオン

ふるさとと首長



富士町
岩井 長平 町長

緑と清流と温泉の町

かがやく自然と歓声がこだまするぬくもりのある町、人は本物にふれて感動しなければならぬ。植物を育てる自然、きらきらと輝く緑・水・幼なりのひとみ、猛き心の男たち、やさしさあふれる女たち、ものをつくり心を育て、確かな今を明日へつなぐために思考し、行動をおこす富士町。

これは、町勢要覧に掲げた「ふるさと賛歌」の一節です。富士町は、福岡市の西新から三瀬トンネルを通過して佐賀市へ抜ける国道二六三号を経由して約一時間。緑豊かで、清き流れと温泉のある町です。北は脊振や雷山、南は天山から発する中小の河川は、町の

中央部で合流して嘉瀬川となり、電気を起こし、田を潤し佐賀市を中心に多くの人々の水道元にもなっている。流域の平野へ家へ、友情をこめて清々の水を送ることに努めている町です。

今、富士町は嘉瀬川ダム建設計画というかつてない大問題を抱えています。ふるさとが沈むという現実に対しては言いしれぬ悲痛はあるものの意を強く乗り越える決意をしています。五六七億円に及ぶ振興計画を樹て、住むことそれ自体リゾートと快適なくらしの創造をテーマに、産業を興し、生活環境の整備を進め、福祉と香り豊かな文化の町づくりを目指しています。



育苗施設 バイオテック富士

ふるさと紹介

富士町

富士町は、筑紫山塊の山ふところに抱かれた一四三km²に及ぶ山村の町です。

町の基幹産業は農林業ですが、八一%以上の面積が森林に覆われその八二%は人工林

です。レタスやホーレン草など軟弱野菜の産地でもあります。加工端材で木炭の製造も始めました。野菜の漬物やハンバーガーに挟むカット野菜も、西日本を販売エリアとす

る花や野菜の苗づくりも始めました。

観光にも恵まれていると自負しています。福岡市から三瀬トンネルを越えたと樹齢千年の桂があり、鎮守の森の木々は、七・八百年の杉や公孫樹がそびえています。

北山湖があります。昨年、湖畔二百haに二十一世紀県民の森が完成し、一周四kmのサイクリングロードも出来て森と湖の作り出すコントラストは、サイクリングで、散策でオートキャンプで、十分にウオッチングできます。

一方、長崎自動車道を経由すれば、大和インターから一五分で古湯熊の川温泉郷です。昭和六三年から古湯に「徐福泉」、熊の川に「御熊泉」の源泉を開発いたしました。

天山北斜面には本格的スキー場もできて三年になります。四季を通して楽しめる、リフレッシュできる観光地づくりに努めています。映画祭や、町を挙げてのふれあい祭り、文化祭など国際的視野に立つてのイベントも楽しみの一つです。真に豊かさの実感できる、森づくりや生活空間づくりに努めています。

私の履歴書

県人会副会長 森 泉

福岡市佐賀県人会の発祥は遠く明治の中頃にさかのぼると聞いています。この伝統と名譽ある会に入会させて頂き感謝致しております。先日、事務局より、この会の機関紙である「むつごろ」に掲載する原稿の依頼がある。生来、筆不精の私も、重い筆をとり、拙い文を書く次第です。

私は、昭和六年佐賀駅の近くの神野町愛敬島、今佐銀の電算センターのある処の近くで育ちました。小さい頃の我家は、田圃にかこまれ、田植



の頃にはうるさい程の蛙の合唱をきき、夏には蚊に悩まされ、夜ともなると蟬や、とん

ばが燈火をしたって舞いこんで来る様な、自然の残った、良い所・良き時代であった様な気がします。先日たまたま帰佐してみると、田圃には、ビルが建ち、飲食店街となり、デイスコまで出来て大変な変わり様でした。

小学校の時には太平洋戦争が始まり、佐中に入り、戦争は益々激しくなるばかり、学徒動員で農家へ麦刈り・稲刈りの手伝いへ、その時の唯一の楽しみは、白米のオニギリが食べられることでした。終戦前は、鎮西学徒通信隊として、高木瀬にあった営舎へ通い、勉強らしい勉強もしないまま終戦を迎え、戦後のドサクサ、食料難と激動の時代を過ぎ、学制改革で新制高校となった佐賀高校の第一回生として卒業することとなりました。家が医家だったからかあまり抵抗もなく医学の道へ進み、昭和32年久留米大学医学部を卒業し、その

後当時循環器科の分野では全国的に、高名を馳せておられた、久留米大学第三内科木村登教授のもとへ入局し、その後10年間、心臓病・高血圧等の循環器に関する疾病について教えを頂くこととなりました。その間、昭和40年7月から一年半、教授の推薦をうけ、NASSAのグラントでロスアンゼルス市の病院へ留学することとなりました。当時大学の給与が4万円少々、月々500ドル（一ドル360円の時代）も呉れると云うことで喜々として準備、その頃は今みたいに簡単に渡米出来ない時で、ドルの持出しも制限されていた。二度とこんなことはないだろうと考え、妻と生後一年の長男をつれて旅立つことにしたが、いざとなつてみると、妻だけが500ドル交換出来私は向うで給料を貰うからと云うことで交換出来ず、どうしようかと心細い思いで羽田を出たことを思い出します。向うに着いてからは、戦時中の敵国語で、不勉強の為、暫くは登校拒否児の心情がわかる心意でした。ロスには広く、車がないと生活が出来ないので、なけなしの金をはたいてオンボロの車を買ひ込み、国

森内科循環器科医院

今年度より新副会長として県人会をご指導いただくことになりました。何卒よろしくお願い申し上げます。

(事務局)

このごろ私は

人のふれあいを大事に

田中 正人さん

私は建設会社勤務の頃、県人会に入会してかれこれ七八年はなるかと思ひます。九州での長い勤務から、八年間の東京本社勤務を経て、再び九州の責任者として福岡勤務となった頃、会社の取引きで若い頃からお世話になっていた昭和商事石油の幹部の方々のお勤めで「佐賀人もんなら、はいらんば」と本会に入会しました。高田副会長を始め皆



様にはいつも変らぬご交誼をいただき感謝いたしております。会社勤務の頃は何かと行事が重なり、欠席がちな県人会もこの頃は毎回出席し、いろんな方とのふれあいができて嬉しく思っています。今年の総会にはご夫婦ご同伴にて出席の方達の和やかな雰囲気もあって、人とのふれあいをしたいなあと卒直に思いました。

私は伊万里市大川町大川野の出身で、母の郷里は佐賀郡大和町平野です。私は父の勤めの関係で学校は私だけが福岡県でしたが、家内も弟妹達も殆んど伊万里の高校を卒業しています。大川野と言えば、昔は炭鉱のある町で、今は梨の特産地として有名で、毎年八月下旬に弟妹達と故郷の梨ばいに行きます。

私は今では四十三年間の会社勤めを終えて、昨年十月、日本技術士会に所属し、自営業として田中技術士事務所を開業し、第二の人生の仕事を始めたばかりです。どうか今後ともよろしく願ひいたします。会社勤務の頃はできなかった好きな水彩画も、木曜日は教室に通いながら、人とのふれあいを大事に元気に暮

しているこの頃の私です。
(西区豊浜一八二〇
番八八二二二三八七・伊万里市出身)

凡庸雑感

杉野 俊夫さん



私が福岡に来て、はや二十八年になりました。現在、私は博多区に在る物流会社・まるまん倉庫にお世話になっておりますが、バブル崩壊後の急速な景気後退による過当競争に毎日苦戦していますが佐賀人もんの業隠で頑張っています。

私の家は佐賀に未だ残っておりませんが、この度河川工事による道路拡張により約二百年になる古家も解くことになりました。大家族のもとと少年期を過ごした苦難の時代も今では、ほのぼのとした想い出

「ぎん福岡ビル」完成

香月 源一郎さん

単身赴任で福岡へ参りました。



(博多区東那珂二丁目 まるまん倉庫・陸運部長 四一四六五九 佐賀市出身)

となつて懐かしさを感じられ複雑な気持ちです。ところで最近、年のせいか二日酔がひどく悩んでいましたところ、或る宴席で某社長さんより二日酔にはクエン酸が一番効くから騙されたとおもつて飲んでみたところ効き目抜群で朝の目覚めも良く、その後は、毎日愛飲しています。つかれず粉(クエン酸結晶100%)一袋80g(一升ビンの水に溶かして朝夕食後コップ一パイ飲んでいきます。会の皆様で酒豪宿酔される方は試みられては如何ですか。

九州では福岡への一極集中が進む中で、佐賀と福岡との経済的・社会的交流はますます強まっております。この中で当行は十年來積極的に福岡地区に営業展開をおこなっております。店舗数も三十六カ店となり、本部ビルの完成で本部機能の充実及び支援体制の確立が図られることとなりました。当地周辺は、博多の心意気を示す勇壮な祭り「山笠」の準備が始まり、夜になると中洲のネオン、屋台がざらりと並びサラリーマンを誘惑する活気に溢れるこの街ですが、「博チヨン」を楽しみつつ、奮闘している毎日です。

新会員ご紹介	
敬称略・氏名・連絡先 電話番号・職業・出身地の順	
橋富 徳郎	△徳心堂高取鍼灸院△大町町
田中 良樹	△ライト工業(株)九州支店△佐賀市
角田 肇	△第一経済大学(教授)△佐賀市
吉原 昭信	(有)ユータックス△佐賀市
野口 清人	機(株)△佐賀市
古賀 脩	品(株)△佐賀市
鈴田 稔	品の店(タンポポ)△佐賀市
藤瀬 宗績	セントラル通商(株)△福岡
田中 一成	(株)△佐賀市

ザ△佐賀市	△(株)西鉄プラ
藤田 清子	△(株)西鉄プラ
吉野 有人	△(株)西鉄プラ
古賀 哲夫	△(株)大林組△鳥
石丸 人詩	△(株)大林組△鳥
里市	△(株)ウイン△伊万
岡村 教子	△(株)ウイン△伊万
村元 元紀	△(株)ウイン△伊万
三瀬村 鏡子	△(株)ウイン△伊万
牧野 鏡子	△(株)ウイン△伊万
大串 文一	△(株)ウイン△伊万
白石町	△(株)ウイン△伊万
脇山 悟	△(株)ウイン△伊万

梶原 正	△(株)佐電工△浜玉町
山崎 節治	△(株)シティアスコム△多市
品(株)△小城町	△(株)シティアスコム△多市
夏秋 克好	△(株)シティアスコム△多市
佐賀市	△(株)シティアスコム△多市
島 禮彰	△(株)シティアスコム△多市
本村小夜子	△(株)シティアスコム△多市
刈町	△(株)シティアスコム△多市
中村トシエ	△(株)シティアスコム△多市
小柳平八郎	△(株)シティアスコム△多市
松永英彦	△(株)シティアスコム△多市
城町	△(株)シティアスコム△多市
大池幸二郎	△(株)シティアスコム△多市
鉄工△小城町	△(株)シティアスコム△多市

小副川将吉郎	△(株)シティアスコム△多市
古川 高章	△(株)シティアスコム△多市
田中 信義	△(株)シティアスコム△多市
中建築△唐津市	△(株)シティアスコム△多市
一ノ瀬英樹	△(株)シティアスコム△多市
命保険△鹿島市	△(株)シティアスコム△多市
阿部八重子	△(株)シティアスコム△多市
石橋 吐児	△(株)シティアスコム△多市
後藤 邦子	△(株)シティアスコム△多市
帆足 達也	△(株)シティアスコム△多市
旭硝子九	△(株)シティアスコム△多市
原 公明	△(株)シティアスコム△多市
州建材△北方町	△(株)シティアスコム△多市
富士町	△(株)シティアスコム△多市

中原 邦彦	△(株)シティアスコム△多市
高森 邦明	△(株)シティアスコム△多市
西村 家馨	△(株)シティアスコム△多市
古賀製佐司	△(株)シティアスコム△多市
品(株)△佐賀市	△(株)シティアスコム△多市
松尾賢次郎	△(株)シティアスコム△多市
宮崎 一正	△(株)シティアスコム△多市
吉田 浄美	△(株)シティアスコム△多市
柴田 光	△(株)シティアスコム△多市
野口 武彦	△(株)シティアスコム△多市
子(株)△塩田町	△(株)シティアスコム△多市

花見紀行

富士町 羽金山・山麓の平成桜公園

自然にあふれた、みどりと清流と温泉の町へ、そして羽金山埋蔵金のロマンをもとめて、200年前の建築物(重要文化財)吉村家住宅を巡り、斎藤茂吉の歌碑を訪みましょう。彼は古湯で38首、唐津で28首、嬉野で7首の歌を作りました。

今年四月五日は日曜日、前日の風雨とうって変わって、絶好の花見日和になったので、県人会仲間の富士町出身・無津呂さんにかねて桜見のお誘いを受けていたので張り切って、彼のふる里・平成桜見物に訪問団を募り同じ県人会メンバー七人でマイカー二台に分乗し心ばかりの手土産と小使銭ていどの会費を持って行つて



岩井町長さんを囲んで

この平成桜公園は、羽金山中腹を横断する広域林道「浮岳―羽金山線」の道路沿いに、平成天皇御即位を祝って地元の人と佐賀県出身の全国有志の人々が、植樹オーナーになりまして誕生したもので今年で丁度四年を迎えます。私共の県人会も、協賛し五本の桜を「福岡市佐賀県人会・金子会長名」で植えております。全部で植樹数は約二百本でそ

れぞれの桜には幹にオーナーのお名前が記されておりますので、次の世代の人々には植樹によりこの木が十年後、二十年後に昔の昭和時代を物語ってくれるものと思います。さて話を戻しまして、正午に花見の宴が、町民の方々を中心に、私達県人会七人の有志その他県外からの各様と、約三百人が三々五々ところ敷に散在し待ち受けるうちに富士町村おし会の代表である嘉村好範さんの幕開けの言葉に始まり続いては富士町長・岩井長平様の歓迎の挨拶と祝辞、続いて紅白の幕を張巡らされたカラオケ舞台から、吾々の代表、無津呂繁美理事からお招きの御礼と祝辞そして嘉村代表の音頭で地元特産の(税務署届け済み)ドブロクを

賀と福岡の稜線(脊振山から西に向う三瀬峠・雷山・天山から唐津方面にかけて猪が異常繁殖して害獣駆除に苦勞されている模様でした)そして地元の野菜をたっぶり入れた猪鍋、それをお菜に、無津呂村山麓で収穫した「佐賀こしひかり」奥様の心がこもった、できたての握り飯のうまさは今も忘れられません。全員ほろ酔い機嫌で話しが弾み、富士町無津呂地区の人から(羽金山標高九百九十九のいづれかの山腹に膨大な十両埋蔵金が隠されているとの申し伝えを聞き、参加者一同、現地の人からこの伝説めいた話を耳にして酒の酔いも手伝って興奮し、その場でソーラー電卓で換算すると、今では約三十億円に相当するそうです。その幻の隠し場所はいづれや、夢のような気分になりました。この話は過去にもあり、去る昭和六十二年地元と、福岡アウトドア協会が共同で探検しましたが残念ながら黄金の秘境は解明してありません。伝説では天草四郎島原の乱に、筑前黒田藩もキリシタン鎮圧の為、出陣し軍用金五十万両を準備しそれを運ぶ途中に(三瀬峠・

高田 省 三

新首長

任期満了に伴う東松浦郡肥前町長選は二月二日投票、即日開票の結果、現職の井上良富氏(六三)無所属が、新人で前町開発課長の中川進氏(五三)同を三百十七票差で破って四選を果たした。

当 三七八八 井上 良富 無新
三四七一 中川 進 無新
(井上氏略歴)町長、町社会福祉協議会長、上場土地改良区理事、助役、総務課長、旧制唐津中卒。肥前町納所。

現職の病氣辞職に伴う神埼郡三田川町長選は二月二日投票、即日開票の結果、前助役の大隈英彦氏(六三)無所属が、前町議会議長の嘉村至氏(六四)同を六十三票の小差で破り、初当選した。

当 二八四三 大隈 英彦 無新
二七八〇 嘉村 至 無新
(大隈氏略歴)助役、総務課長、建設課長、三養基高中退。三田川町豆田。

任期満了に伴う三養基郡基山町長選は二月四日告示され

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

たが、現職の天本種美氏(六三)無所属以外に立候補者はなく、天本氏の三期連続無投票による三選が決まった。

任期満了に伴う佐賀郡東与賀町長選は二月四日告示。現職の破寛介氏(六五)無所属以外に立候補がなく、三期連続で無投票当選を果たした。

任期満了に伴う杵島郡江北町長選は二月二十三日投票、即日開票の結果、元町議の田中源一郎氏(六三)無所属が、対立二候補を破り、初当選した。田中氏は県内の現職首長としては最も若い。

当 三〇六二 田中 源一 無新
二〇九六 山田 友之 無新
(田中氏略歴)町商工会理事、町議二期、町青年団長、明治大卒。江北町山口。

任期満了に伴う東松浦郡相知町長選は三月二十九日投票、即日開票の結果、現職の小松輝義氏(五三)無所属が、新人で前町農林課長の江頭良一氏(五三)無所属を八百五十八票差で退け、再選を果たした。

当 三三七九 小松 輝義 無現
一九二二 江頭 良一 無新
(小松氏略歴)町長、全国鉱業市町村連絡協理事、町振興係長、唐津東高卒。相知町相知。

任期満了に伴う小城郡三日町長選は四月二十六日投票、即日開票の結果、現職の大坪常雄氏(六三)保守系無所属が、新人で前町議会議長の野口進氏(六五)同を四十二票の小差で破り、再選を果たした。

当 二七〇四 大坪 常雄 無現
一六六二 野口 進 無新
(大坪氏略歴)小城郡防犯協会会長、佐賀土地改良区理事、町社協会長(助役、産業課長)、青年学校卒。三日町石木。

任期満了に伴う小城郡小城町長選は六月十六日告示され

天皇・皇后が県内入り

五月十日、福岡県夜須町で行われた第四十三回全国植樹祭にご出席された天皇・皇后両陛下が、十一日午後、佐賀県入りされた。二泊三日の日



県出納長に福島氏

井本知事は、空席の県出納

長に福島善三郎・前商工労働部長(五七)を起用することを決めた。四月二十八日開会の四月臨時県議会最終日(三十日)に選任同意議案を提出、承認された。

程で、本年度から国営公園に向け整備が始まる国指定特別史跡・吉野ヶ里遺跡のほか、高校生たちのスポーツ活動、老人保健施設、県畜産試験所などをご視察になった。

天皇陛下のご来県は、昭和六十二年、藤津郡嬉野町で開かれた全国植樹祭の「昭和天皇」以来、五年ぶり。

吉野ヶ里遺跡では高島忠平、県文化財課長の案内でご覧になり、遺構全体、出土品などに深いご関心を示された。ご

見学は一時十五分におよび弥生時代のロマンに浸られていた様子だった。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

昭和自動車

IBMと提携

日本アイ・ビー・エム(本社・東京)は五月二十六日、昭和自動車(本社・唐津市)を中核にする昭和自動車グループ傘下のIBM特約店・昭和コンピュータ販売とソフトウェア会社・昭和セントラルが母体となって設立する新会社「キャッツ」に、他の地元有力企業六社とともに資本参加することで合意、調印した。

「キャッツ」は福岡、佐賀など北部九州で拡大する中、小コンピュータの需要に対応。特にオフコン分野のシステム・インテグレーション・サービスの提供強化を図り、IBM製品のビジネス拡大を

たが、現職の村山和彦氏(六三)無所属のほかに届け出はなく、同氏の無投票再選が決まった。

任期満了に伴う人出一位は陶器市

九万三千人にのぼった。前年同期を約六千人上回った。ベスト10は次の通り。
①有田陶器市(七十七万人)
②どんぐり村(八万八千人)
③吉野ヶ里遺跡(八万三千人)
④北山湖(六万人)
⑤大興善寺(五万九千人)
⑥鏡山(四万九千人)
⑦波戸岬(四万七千人)
⑧呼子大橋(四万人)
⑨唐津城(三万八千人)
⑩ガタリンピック(二万五千人)
トップの有田陶器市は全国ランク七位で、前年比五千人増。販売額も十六億八千五百万円にのぼった。



目指す。



博多どんたく 港まつりに 唐津曳山が登場

約千人の火消し衣装姿の曳き子が、軽快なおはやしに乗って綱を引き、「エンヤ、エンヤ」の合唱。
三日から始まった祭りのラストは、唐津「子」の独り舞台。勇壮な唐津くんちの「宵山」を再現、見物の人たちの胸を熱くした。
五台の山のちようちゃんには

灯が入り、情緒も一段とアップ。曳き子らはバレード広場を誇らしげに走り抜けた。
これより先、伊万里市の「どっちゃん祭り」どんたく隊も登場。伊万里女みこし華粋会の四十人が華麗な演技を披露する一方で、踊り隊も民謡で「フルーツの里・伊万里」をアピールした。

新観光キャンペーン

県観光課は五月二十日、平成五年から三カ年事業で新たな観光キャンペーンを展開することを決めた。近く大手代理店に基本戦略や計画づくりを依頼する。「SAGANWAY(サガンウェイ)」に続く第二戦。今回のキャンペーンは、八年度開港予定の佐賀空港や国際芸術祭をにらみ、県の統一イメージ目標「人と自然と文化の交響曲・佐賀」を観光面で具体化する。

本欄のニュース、話題はすべて佐賀新聞社より提供いただきました。

おくやみ ご冥福をお祈りします

常任理事 榊原祥光氏

謹んで、(故)榊原祥光氏のご逝去をお知らせ致します。当佐賀県人会で毎年の総会において懇親会の司会をして頂き、皆様ともなじみの深く大変お世話になっていました。榊原理事が難病に罹られましてご家族の必死の看病にも拘わらず遂に、去る四月十六日五十一歳の若さで逝去されました。榊原さんは堂々たる体格と持前の事業欲にフアイトを燃やされ「オーストラリアとの水産貿易事業」に着着と

布石を打たれ順調な歩みをされていましたが、最近健康を害され止むなく闘病生活を続け、一時は元気に当県人会の理事会にもご出席頂いていましたが、この度不帰の客となられました事は残念の極みでございませう。ご本人が一番御無念であられたものと人生の非情に對しお慰めの言葉もございませう。会報「むつごろ」ご愛読の皆様と共に榊原氏のご冥福をお祈り申し上げます。

岩崎光次氏

佐賀県人会の大先輩であられます岩崎光次氏が、去る五月六日に八十一歳の天寿を全うされ永遠の眠りにつかれしましたので謹んで、お知らせ申し上げます。

らは国民の良き相談相手として弁護士になられましたので、翁のお加護を受けた人々も多数いられるものと推察致します。佐賀県人会の皆様どうぞ(故)岩崎光次氏の御冥福をお祈り下さい。

合掌。

会員・支部の動向を ご連絡ください

人事異動や慶弔行事、親ばくの集い——いろいろあつてのことだと思ひます。

掲載期日がおくれるので、ご不満はあるかと思いますが、会員相互の消息を知りあうためにも、ぜひ、連絡をお願いいたします。

また、地元や職場でもしろいニュースがあつたときも、お知らせください。楽しい紙面づくりのためにご協力をお願いいたします。

このほか、ふるさと佐賀県について「こんなことが知りたい」という希望も事務局までご一報ください。紙面に特集いたします。

入会の勧め

県人会では毎年恒例の行事として、年度総会および懇親会を催し、会員の親睦交流を図っています。また会員には年二回発行の「会報むつごろ」をお届けします。未加入県出身者に入会を勧めて下さい。入会あるいは紹介の問い合わせは、県人会事務局へどうぞ

編集デスク

平成四年度の総会号をおとどけします。「赤熊太鼓」の響きに佐賀県人の血が躍る思いでした。プリンセス佐賀のすばらしい笑顔も皆さんを、古代のふるさとへ誘ってくれました。

特別ゲストの富士町岩井長平町長さんも交えての楽しい総会となりました。

県人会に永い間ご尽力いただいた榊原常任理事・岩崎大先輩を亡くしたことは大変残念ですが、お二方の意志を受け継ぎ佐賀県人会の益々の発展に努力したいと決意を新たにしました。どうか会員みなさんのより一層のご叱声・ご協力をお願いいたします。(T)

会報むつごろ

平成4年7月25日 発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 田中 秀男)
福岡市中央区大手門2-3-7
昭和商事石油株式会社
☎ 092-714-3111
製作 (有)タナカ製本印刷所
☎ 0955-23-5214

共同石油株式会社特約店

 セントラル石油販売株式会社

本社 福岡市中央区大手門2丁目3番7号 (〒810)
電話 (092) 711-1130番 (代表)
給油所 佐賀市鍋島町八戸564の1 (〒840)
電話 (0952) 22-2520番